

家庭内感染を防ぎ皆で予防しよう！

愛媛県内でも新型コロナの感染者が上下する中、冬を迎えると空気が乾燥し新型コロナだけではなくウイルスの感染リスクが増すため、家庭内での感染対策は重要です。今回、今治市医師会病院の石井榮一院長に注意点や予防対策を伺いました。



▲石井榮一院長
今治医師会市民病院
☎0898-22-7611

家庭内で感染しにくい環境を



小児の場合、新型コロナに感染しても無症状か軽症のことが多く、重症化しない傾向にあります。幼稚園や保育園など集団生活でおこるクラスターなどのリスクもあります。子どもの行動を制限するのは難しく、マスクを嫌がる場合もあるので保護者の方はワクチンを接種し、家庭内で感染しにくい環境をつくることも大切です。

定期接種のワクチンは打ちましょう

新型コロナのワクチンに限らず、子宮頸がんや日本脳炎、インフルエンザなど様々なワクチンがあります。ワクチンの副作用の課題もあります。日本は義務化されなくなりましたが、病気を予防するには定期接種に含まれるワクチンは基本的に接種をおすすめします。

タオルや食器など共有しない！

タオルや食器、箸、スプーンなどを共有しないことが大切です。できれば洗面所やキッチン、お風呂などで使用するタオルは共有しないよう、お互いに確認し家庭内感染に気をつけてください。鼻をかんだティッシュなどもウイルスがついているので、素手で触らないようにしましょう。



ワクチン接種で妊婦さんを守ろう！

新型コロナワクチンの接種率が高まっている中、妊婦さんも接種すべきかどうか悩んでいる人が多いと聞きます。そこでマイタウンでは、きら病院の吉良佳世医師に、気になる疑問や不安に思うことを伺いました。

妊婦さんもワクチン接種可能

新型コロナワクチンを妊婦だからと避ける必要はありません。日本産科婦人科学会でもワクチン接種を推奨していますので、安心してください。妊娠の時期を問わず、どの時期に接種しても問題ありません。ただ以前にワクチン接種をしてアナフィラキシー反応などの副作用が起こり、体質的にワクチンが合わない場合はやめましょう。



▲吉良佳世医師
きら病院
☎0898-31-5711

赤ちゃんや妊婦さんの命を皆で守りましょう。



基本的な予防を徹底しよう！

感染を予防するには、手洗い、マスク、うがいなど基本的な感染予防の実施、そして人混みを避け、不要不急の外出は自粛してください。

特に妊婦さんの場合は新型コロナだけではなく、他の感染症に対しても予防に努めてください。

夫やパートナーも接種を

ワクチンの副反応に不安を感じる妊婦さんも多いかと思いますが、新型コロナにかかり重症化するリスクより予防をすることが一番大切です。

また妊婦さんが感染する原因は、夫やパートナーからの感染が多いため、本人だけではなく、周囲の協力体制も必要です。